



2014-2015年度 主題

国際会長 Isaac Palathinkal : "Talk less, Do more"
「言葉より行動を」

アジア会長 岡野泰和 : "Start Future Now"
「未来を始めよう、今すぐに」

東日本区理事 田中博之 : 「誇りと喜びを持って」
"With Pride and Pleasure"

湘南・沖縄部長 峯尾 舜 : 「一人は皆のために 皆は一人のために」
クラブ会長 鈴木 茂 : 「親睦！と奉仕！」

2015年5月号 <EF/JEF>

今月の聖句

「あなたがたの上に聖霊が降ると、あなたがたは力を受ける。そして、エルサレムばかりでなく、ユダヤとサマリアの全土で、また、地の果てに至るまで、わたしの証人となる。」

使徒言行録 1 : 8

2015年5月本例会

日時 : 5月22~23日

場所 : 富士山YMCA

受付 : 鈴木 茂 (報告書)

司会 : 鈴木恭子

例会 15:00~16:30

開会点鐘 鈴木 茂会長

ワイズソング・信条 一同

今月の聖句 相賀牧師

ゲスト・ビジター紹介 鈴木 茂会長

会長挨拶 鈴木 茂会長

卓話

「YMCA キャンプの現状」

横浜北YMCA 生井館長

各種アピール

スマイル

(ネパール地震緊急支援募金)

YMCA報告 生井担当主事

誕生祝い

5月11日 岡崎さよ子さん

5月13日 生井知三さん

5月20日 林 理子さん

5月21日 鈴木 茂さん

5月29日 相賀由美子さん

閉会点鐘 鈴木 茂会長

16:30~17:30

□田中博之理事を囲む懇談会

司会:辻 剛

18:00~

□懇親 BBQ会

□懇親アトラクション

ダビデとウエスタン

横田 孝久



YMCA 会員増強キャンペーンも目標であった1500名を超える結果になり、一丸となってやれば何事もやれるんだと感じている昨今です。

今回は我々Y'sのメンバー増強に、それこそ一丸とならなくてはと思います。アメリカ大陸が1492年にコロンブスによって発見されたことは誰でも知っているが、はじめはインドと間違えたようであった。そんなことから先住民をインディアンと呼んだらしい。アメリカと呼ばれたのは1499年にイタリア人のアメリゴ・ベスピッチが「新世界」を書いて、ヨーロッパ人が多く読んだのでそうなったらしい。その後いろいろあったが、1620年に宗教上の迫害を逃れ、信仰の自由を求めて、メイフラワー号で大陸にやってきて、植民地を作ったのが合衆国の基礎となりました。

以前、礼拝で「サムエル記下5章1~5」を聞きました。説教を聞いていてふと思ったのが、アメリカでした、特にカントリー&ウエスタンの音楽や西部開拓にまつわることでした。ヘブロンにもどったダビデが南イスラエル、ユダ族の王となり、次から次へと領土を増やしてイスラエル国を統一しました。その後ペリシテを攻撃し、ガテを占領して、地中海をも制圧しました。そして、エルサレムを首都として、さらなる領土の拡大を計って行きました。その彼を救世主として、イスラエルの民族の心に希望と勇気の灯をともし続けたのでした。1千年後に現れるベツレヘムのイエス・キリストの系譜にまでおよびました。

このことが先のアメリカフロンティア精神と何か合致するようだなと感じたと思います。その後開拓者は西へ西へと太平洋側まで開拓しました。まさにダビデの開拓と同様に思ったのは、小生だけかも知れませんが、そしてY'sメンバー増強作戦もダビデと開拓者の如く、我々も積極果敢にEMCに取り組みなければと感じます。そして活動の活性化にどのように知恵を働かせるかの議論も必要です。

預言者ナタンが言ったように、ダビデに絡んで将来に「永遠の神の国が到来」すると。それが現実となり1千年後にイエス・キリストが我々の前に現れ、十字架にかけられ復活をして天に昇り、今なお神との間に立ってくださっている。だからこそ、勇気を持ってワイズの信条を実践していくべきだと考えます。(次頁に続く)

前月データ	
在籍会員数	18名
例会出席者	20名
メンバー	14名
ゲスト	6名
ビジター	
メイキャップ	3名
月間出席者	17名
出席率	94%
ブルタブ	38.0kg

6月例会予告

6月本例会は、日本YMCA同盟島田総主事をお招きして「日本YMCA中期計画と私の歴史秘話」と題して卓話をいただきます。良い機会ですので、ご家族・友人・知人を、ぜひお誘いください。

本例会:6月26日(金) 18:30~20:30

例会場:かけはし都筑

6月事務例会は、9日(火)18:30から田園都筑教会で行います。次年度の活動に向けて、辻次期会長の提案を話し合い、10周年の門出に備えます。

最後に一言、ただ、ダビデの人妻を奪ったりなどの所業で自らが没していくような人生にはなりたくないと思ったのも事実でした。この事が記述したかっただけです。お断りですが小生の勉強・知識不足で間違った聖書認識と歴史かも知れませんがお許しください。オソマツでした。

<4 月本例会報告書>

日時：4月24日 18：30分～20：00

会場：かけはし都筑

出席者：相賀、今城 T・H、岡崎、岡田 K・M、久保、

鈴木 K・S、田中、生井、林 M・S、福島

ゲスト：田島 博さん、實生倉二さん、佐渡友秀夫さん、

佐渡友順子さん、細田衛士さん、金城弘子さん

4 月本例会は、慶應義塾大学経済学部教授、細田衛士さんを卓話者にお招きして開催されました。開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条に続き、相賀 昇牧師による今月の聖句、祈祷があり、ビジターの紹介、会長の挨拶を経て、卓話を伺った。



「環境経済学における諸問題」と題してのお話を伺いました。たかがゴミとはいえ ここ数十年、埋め立て地の限界、有害なゴミ等の視点では心にとめている問題ではありませんが「今、資源循環に異変が起こりつつある」のプロローグに引き付けられました。今までゴミは廃棄物として「混ぜればゴミ、分ければ資源」という課題で日本国内だけの静脈資源として成功してきたが、物の流れは一国で閉じていなくなり、海外に流出して、東アジア(特に中国)では日本の静脈資源が国内より高い価値が付き、日本は太刀打ちできない状態になっている。取り組みの方向性としては、便利さばかりを追求する現代の資本主義から、行政やメーカーを巻き込んで資源循環を円滑にし、使用済みの静脈資源を廃棄物でなく、再生資源として国内でうまく循環資源にするのが日本にとって最大の課題。単純明解なように感じる我々ですが、現代の複雑化した社会では、そう簡単にはいかないようです。細田教授のPPT2枚を引用紹介します。

これまで日本の資源循環政策ないし3R政策は、廃棄物政策の延長線上にあった。だから、廃棄物を減らすことが主要目的であった。確かに、国内だけでモノの流れが完結するのであれば、それで充分であったらう。

しかし、静脈資源といえども、モノの流れは国内では完結せず、海外と密接につながっている。そして、日本の使用済み製品・部品・素材は、「潜在的資源」として位置づけられている。生産者・市民・行政が協力して国内資源循環

に協力する必要がある。使用済み製品・部品・素材は、廃棄物というよりも静脈資源という考え方をすべき時が来た。日本ではまだまだ難しいが、静脈資源からの資源抽出のための効率的なシステム、高い技術の結合が必要。また、静脈物流を効率的にし、静脈産業を成熟化することによって一層の費用削減が必要。円滑な資源循環型社会をつくるには、生産者責任、排出者責任、適正処理責任を結合することが重要。静脈資源を再生資源として、国内でうまく循環利用することが日本にとって最大の課題。

難しい重い問題を表面だけしかわからない我々に分かりやすく、お話をいただきました。

その後 YMCA 報告、誕生祝(岡田勝美、鈴木恭子、福島佐世子)会長の閉会点鐘で閉会しました。

親睦会には、細田先生をはじめゲストの皆様全員がご参加くださり楽しいひと時をすごしました。

(福島 佐世子 記)

<5 月事務例会報告>

日時：5月12日 18：30～20：00

出席者：今城 T/H、鈴木 S/K、岡田 K/M、岡崎、田中、辻、

林 S/M、福島、横田

ゲスト：山中 奈子氏、関 伸夫氏

報告・連絡事項

- 6月5日東日本区理事杯争奪ゴルフ・中津川 CC。
当クラブからは久保、横田両氏が参加予定。参加人数が少ないので、新たに参加される方募集中。
東日本区大会には、現在 12 名が出席予定。更なる出席者増を要望。
- 横浜北 YMCA・山中奈子氏、日本 YMCA 同盟・関伸夫氏が来訪。目的は横浜北 Y が取り組んでいる発達障がいのある青年たちのための自立支援プログラム「ひとり暮らし体験」基金募金のアピール。この基金募金を日本 YMCA 同盟 FCSC (Foreign Community Supporting Committee) /国際賛助会が取りあげ、クラウドファンディングを行っている。事務局長の関氏が PC の画面を見せながら説明を行った。当クラブからのコメント：「大変有意義なプログラムで他に先駆けて北 Y が取り組んでおられることに敬意を表する。当クラブはチャリランをはじめとして様々な支援を同盟、横浜 Y に対して行っている。そのような中でこのプログラムがどのように位置付けられているのか？何故単独で募金を呼び掛けておられるのか？当クラブとしては今後更なる情報も参考に人的な支援なども視野に入れながら対応を検討していきたい。」
- 林 S から社協関係①ふれあい助成金申請完了②YOU & I コンサート後援名義使用申請完了③災ボラ組織化の経過報告と、今年度の「ブリテン印刷・郵送費用」についての説明あり。「年間費用としては7、8月は従来方式を取らざるを得ず12,750円の予算オーバーになった。今後は、東日本区ウェブサイトブリテンをアップして配信できるようになったので、今後は予算通りに推移する見込み。」

協議

- (1) 「富士山例会」の持ち方(詳細後述)
 (2) ネパール地震緊急支援募金⇒5月22日(金)開催の「富士山例会」時のスマイルを寄附する。
 (3) 今・来月のCS活動

◇ すぷーん(月)調理ボラ

5/4: 今城H/杉本 5/11: 福島/岡崎 5/18: 林/鈴木K
 5/25: 辻Ts/今城T 6/1: 今城H/杉本 6/8: 福島/辻Ta
 6/15: 岡崎/鈴木K 6/22: 辻Ts/今城T

◇ GTL(水)傾聴ボラ

5/7: 今城H 5/13: 林M 5/20: 岡崎 5/27: 横田
 6/3: 今城H 6/10: 林M 6/17: 岡崎 6/24: 横田

◇ ぼけっと 送迎ボラ

5/15(金) 今城T、6/2(火) 今城T、6/19(金) 今城T
 閉会后、会食・懇親会に13名が参加。

富士山移動例会の詳細プログラム

1. 参加予定者

(ゲスト) 田中博之理事、宮内友弥・東京武蔵野多摩クラブ会長(日帰りの予定) 富士五湖クラブ・望月 勉あずさ部長・喜代子夫妻(日帰りの予定)、
 福田光代さん(鈴木Kの友人、静岡在住。宿泊の予定)

(メンバー) 相賀、今城T/H、岡崎、岡田K/M、久保、鈴木M/S、田中、辻Ts、生井、林M/S、福島、横田

2. 集合時刻: 2015年5月22日14:00、
 プログラム開始: 15:00
 3. 卓話: 生井知三担当主事「YMCA キャンプの現状」
 4. 田中理事を囲む懇談会 座長 辻 剛
 5. 懇親会(BBQ): 3万円の予算で「さの萬」へ注文
 野菜購入追加担当: 今城H⇒予算3,000円
 飲み物担当: 横田
 焼き方担当: 今城T、辻Ts、林H、生井
 6. 懇親会(アトラクション)
 担当: 久保、横田、生井
 8. 宿泊・食事代・交通費の精算方式
 精算方法は、今城Tに一任。
 9. 翌朝の計画: 自由行動。

おすすめスポット

朝霧高原周辺: 田貫湖・富士養鱒場・富士花鳥園

食事処: 県営ますの家

沼津港周辺: 沼津魚市場・深海魚水族館・柿田川湧水群

食事処: 双葉寿司、その他多数

内浦湾・大瀬崎周辺: 富士山と大瀬崎ビヤクシンの樹林

食事処: 三津: やまや、木負: 山源、平沢: やまや

三島周辺: 韮山の反射炉・ビュフェ美術館・井上靖文学館・ヴァンジ彫刻庭園美術館

食事処: 三島: 桜屋、うな好

愛鷹山・御殿場周辺: 印野溶岩隧道・駒門風穴

食事処: 忠ちゃん牧場

<2014-15年度湘南・沖縄部第3回評議会報告>

日時: 2015年4月25日(土) 14:00~16:00

会場: 横浜中央YMCA 501号室

当クラブからは今城T次期部長、今城H部事業主査、辻T次期クラブ会長、鈴木Sクラブ会長が出席。

峯尾部長による開会点鐘、ワイズソング、ワイズの信条、聖書朗読・祈祷、部長挨拶に引続いて議事に入り、諸議案が次の通り、議決承認された。

第1号議案 「次年度部役員選任の件」

今城高之次期湘南・沖縄部長から、2015-16年度部役員が次の通り内定しているとの報告があり、次回(6月20日)評議会でも最終承認を行なうことが議決された。

- ◇ 部長: 今城高之(横浜つづき)
 ◇ 次期部長: 若木一美(横浜とつか)
 ◇ 直前部長: 峯尾 舜(金沢八景)
 ◇ 部書記: 林 茂博(横浜つづき)
 ◇ 部会計: 岡田勝美(横浜つづき)
 ◇ 地域奉仕事業主査: 佐藤節子(厚木)
 ◇ 会員増強事業主査: 浦出昭吉(横浜とつか)
 ◇ 国際・交流事業主査: 伊藤康一(沖縄)
 ◇ ユース事業主査: 天野皓司(横浜)
 ◇ ネット連絡員: 今城高之(横浜つづき)

第2号議案「第18回東日本区大会登録状況報告の件」

堀田哲郎厚木クラブ会長から、4月24日現在の区大会登録人数は321名であり、また採算ベースの400名に達していないとして、各クラブに一層の登録協力の要請があり、本件報告及び要請が承認された。

第3号議案「YMCA 東山荘100年募金の件」

峯尾部長から、先般の区役員会で「YMCA 東山荘100年募金」に区の「東日本区ワイズ基金」から1000万円寄附することが議決された旨の報告があり、部長個人としては金額規模に鑑み、区役員会だけで決定したことに違和感を禁じえないが、湘南・沖縄部としての対応を協議したいと提案があった。特に意見はなく、区の東山荘100年募金への寄附決定報告を承認。

第4号議案「今年度CS事業優秀クラブ推薦の件」

峯尾部長から、今城CS事業主査とも相談した結果、湘南・沖縄部としては、今期のCS事業優秀クラブとして、金沢八景クラブと横浜つづきクラブを推薦したいと提案があり、異議なく議決承認された。

第5号議案「2015年Y-Y's 合同新年会会計報告の件」

谷口部会計から今年1月に開催されたY-Y's 合同新年会の会計報告が行なわれ、最終的に3万円程のマイナスが生じたが、部会計から補填した旨の報告があり議決承認された。

以上で議事は終了し、続いて東日本区役員会報告、事業主査報告、各クラブ報告、YMCA 報告が行なわれた。次回湘南・沖縄部評議会の日程は2015年6月20日(土)の予定。

(文責 鈴木 茂)

私のCSボランティア活動 (その6)



林 茂博

首からかけるワイズの名札入れを重宝に使用しています。ワイズの名札以外に何枚かボランティア関係の名札を入れていますが、そのうちの1枚に「福祉移動サービス運転者及びセダン等運転者講習修了証」があります。これは二種免許を持たないでも、福祉有償運送業務を行えるライセンスで、私は社協が提供する送迎サービスの運転ボランティアを週1~2日行っています。このサービスは、電車やバスなどの一般の交通機関を利用することが困難な高齢者や障がいのある方を対象に、車いすごと乗車可能な車輛を使用して医療機関・福祉施設への送迎、行政機関での手続きのための送迎を行うものです。

このサービスを利用できる対象者は、介護保険の要介護認定において要支援以上に認定されたおおよそ65才以上の方、もしくは特定疾患医療給付の対象疾患に該当する方、または一般の交通機関を利用することが困難な方となっています。

利用運行範囲は、原則として横浜市内となっていますが、川崎市など市外の場合も、社協の申し込み窓口との相談で可能な場合もあります。利用時間は、祝日、年末年始を除き、月曜日から金曜日までの午前9時から午後5時までで、利用希望日の1ヶ月前から1週間前までに、電話で申込む仕組みになっています。

利用回数は週1回かつ月4回まで、一度に予約できる回数は2回分までと、かなり制約がありますが、区社協への利用者登録数はかなりの人数となっています。

3台の専用車に、十数名の運転ボランティアが登録されており、それぞれの都合に合わせてシフトが組まれます。2日前に運行依頼書がメールで送られてきて、時間・乗車場所・行先・付き添いの有無などが示されます。個人情報保護の観点から、障がいの有無や年齢などは、お会いするまでわかりませんが、高齢者の方ばかりでなく、特別支援学校への送迎など、お子さんの場合もあります。

利用料金は、基本的に迎車料金300円に移動距離1km当たり150円で、タクシーと比較すると半額程度になっていますから、条件が整う場合は利用をお勧めします。

また、NPO法人横浜移動サービス協議会が主催する講習会は、実技1日・座学1日の2日間コースで、ボランティアでなくとも、家族や知人の介護をなさる方には、非常に有益な講座内容になっています。

実技では、車いすの取り扱い・リフトの操作だけでなく、セダン車の座席に乗降させる場合の介助の仕方など、対象者の身体状況に合わせて行うコツが学べてとても勉強になりました。座学では、身体障がいのみでなく、さまざまな障がいを持つ方々への対応の仕方や緊急時の対処方法が習得できました。みなさんも受講されることを、お勧めします。

<北Yだより>

北YMCAでは、夏のプログラムの準備が始まっています。今夏も多くの方々をお迎えできるようにプログラムが計画され、リーダーたちのトレーニングやキャンプのミーティング、下見なども実施されています。

私たちYMCAがプログラムを通して実践していきたいこと、めざしたいことは、赤い三角マークに示されているスピリット、マインド、ボディの3つのバランスのとれた全人格的な成長を大切に、共に生きる社会の形成をめざしています。

共に生きる社会を形成するために、YMCAではキャラクターディベロップメント(CD)を通して4つの大切な価値を伝えています。「自分にしてもらいたいことは、ほかの人にも同じようにする」「自分のことのように、あなたの隣人を愛する」という生き方ができる人を育てていくこともめざしています。

こうした人格、人間観を育てつつ、他者と連帯していく方法をキャンプなどグループ生活の体験を通して学んでもらいます。それを日常の中や地域社会につなげ、活かしてもらうことをYMCAでは大切にしています。はじめは、「自分のために」とYMCAのプログラムに参加してきた人が、全人格的な成長をめざすYMCAのプログラムを通して、「わたしと仲間と共に」と変化し、多くのリーダーやスタッフ、メンバーと接する中でCDの価値が深く伝わっていくと「自分のことのように、隣人のために」と変化、成長していくこと、このことを強く期待しています。

これらの変化していく過程の中で、小さなコミュニティの経験を豊かに積み、「他者のために、地域社会のために、世界の人のために」とラージコミュニティに生きる人を育てることにつながっています。

つまり、YMCAの活動に参画することによって、このような変容を遂げ、社会を変え、平和を生み出す人を育てて行く、このことが「YMCAの使命」なのだと思っております。

CDも自らがそのモデルとして示すことが重要になってきます。あらためて、言葉だけではなく行動を通して示す、前向きな生き方が私達にも求められています。YMCAの使命、CDの4つの価値、メンバーに伝えているキャンプの願いやテーマなども、自らが示し、行っていく生き方であることを確認して行きたいと思っております。私たちは、目に見えるものも大切ですが、「見えないものに、目を注ぐ」ということの大切さを改めて体現していく夏にしたいと思っております。

《6月行事予定》

6月6日 ガールズスクール(発達障がい児支援活動)

6月1日 菊名小教員向けCPR講習会

6月7日 普通救命講習会

6月28日 全国YMCA一斉255メートルチャレンジ講習会

6月17日 アウトドアトライ(発達障がい児支援活動)

(横浜北YMCA館長 生井知三)